

今号の作業

フロントフェンダーを取り付ける



今回は、前号で組み立てたフロントフォークに「フロントフェンダー」を取り付ける。また、3号で組み立てたフロントタイヤも取り付け、フロントフォーク主要部を完成させる。なお、このフロントフェンダーは実車の「カットフェンダー」を再現するため、外縁部が非常に鋭利な状態になっている。作業中にけがをしないよう、くれぐれも注意して取り扱ってほしい。

今号のパーツ



- ①フロントフェンダーステー×2
- ②フロントフェンダー×1
- ③キャリアホルダー×1
- ④ビス(Lタイプ)×1
- ⑤ビス(Cタイプ)×4
- ⑥ビス(Kタイプ)×4
- ⑦六角レンチ(1.5mm)×1

※①フロントフェンダーステーには、上下左右はありません。

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

「②フロントフェンダー」の外縁部は、実車の仕様を再現するため鋭利な状態になっています。作業中のけがを防止するためにも、十分注意して取り扱ってください。

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・クロスレンチ(9号に付属したもの)

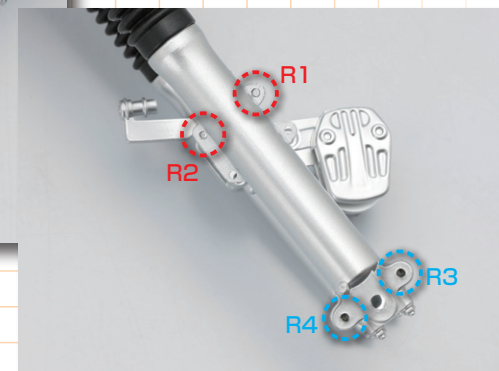
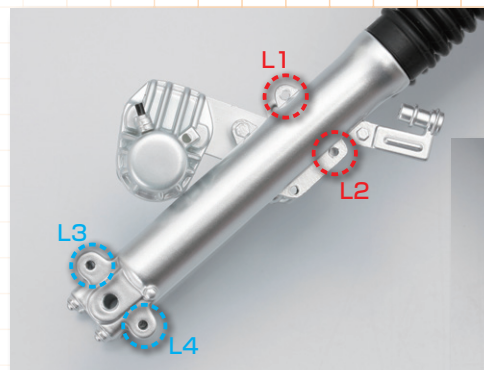
用意するもの

- ・フロントフォーク(9号で組み立てたもの)
- ・フロントタイヤ(3号で組み立てたもの)
- ・フロントホイールシャフト(9号に付属し、保管しておいたもの)
- ・フロントホイールシャフトナット(9号に付属し、保管しておいたもの)
- ・ビス(Nタイプ)×1(9号に付属し、保管しておいたもの)
- ・ビス(Uタイプ)×1(9号に付属し、保管しておいたもの)

指定ビス穴にタップを立てる

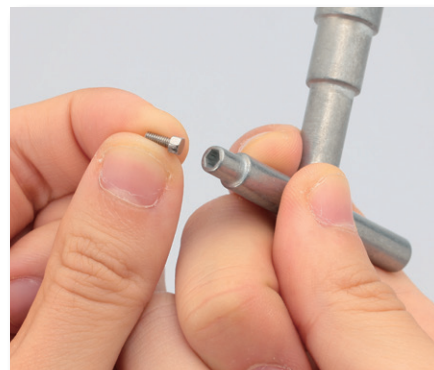
フロントフォーク先端のビス穴にタップを立てておく。写真はビス穴の一覧で、青字部分がタップを立てる部分だ(赤字部分は処理済み)。番号を付記したので、しっかりと確認し

ておいてほしい。なお、今回の組み立て作業で使用するビスは直径2.0mmなので、⑤ビス(Cタイプ)と、9号で提供したクロスレンチを使用して作業を行う。



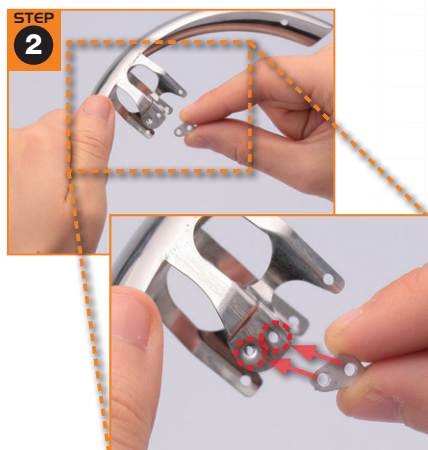
⑤ビス(Cタイプ)の頭部分は六角形になっているので、それをクロスレンチの短いアーム部の六角穴(先端に段差が設けられている)へ差し込み、その状態で各ビス穴にタップを立

てる。なお、クロスレンチでの作業は必要以上に力が加わるので、ビス穴を傷めないようレンチがパーツに当たったらねじ込めを止め、左回りに回してビスを抜き取る。





前回の作業ではめ込んでおいたキャリアパー-Aを取り外す。外しにくい場合は、キャリアパー-Aを少しひねるようにすると簡単に取れるはずだ。



③キャリアパーホルダーを用意し、②フロントフェンダーへの取り付け位置を確認する。写真のように、フロントフェンダー中央の取り付け部が膨らんでいる部分に重ね合わせる。



キャリアパーホルダーが落ちないように指先で押さえたまま、④ビス(Lタイプ)を「左側のビス穴」にセットする。なお、このビス穴には、あらかじめタップが立てられている。



クロスレンチを使い、Lタイプのビスを真っすぐに締め込む。締め込み終わったら、キャリアパーホルダーのビス穴と、フロントフェンダー取り付け部の穴が重なるよう位置を調整する。



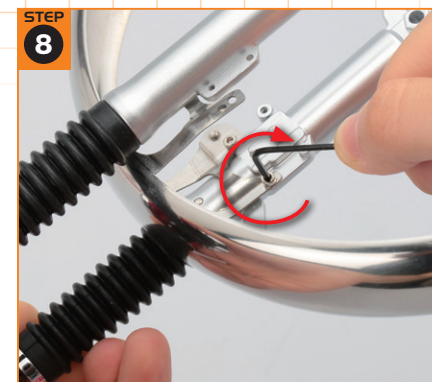
フロントフォークを用意し、フォークブーツの間からフロントフェンダーを前から差し込む。このとき、キャリアパーホルダーを取り付けた側が「向かって右側」になるようにする。



フロントフェンダー中央の取り付け部にあるくぼみを、左右フロントフォークの内側にセットする。このとき、取り付け部先端のビス穴は、フロントフォークのL1、L2、R1、R2と重なるように位置を合わせる。



フロントフォーク左から固定作業を開始する。⑥ビス(Kタイプ)の頭部分に⑦六角レンチを差し込み、キャリアパーホルダーを取り付けたビス穴のとなりの穴に真っすぐにセットし、そのままL1へねじ込む。



L1を固定したら、続いてL2を固定する。Kタイプのビスを六角レンチにセットし、写真のようにフロントフェンダー取り付け部のビス穴を通してL2へねじ込む。



続いてフロントフォーク右の固定作業に移る。フロントフェンダー取り付け部を引っ張りながら、取り付け部先端のビス穴をR1、R2のビス穴に重ね合わせ、Kタイプのビスを使って内側から固定する。固定する順番は、R1、R2のどちらからでもよい(写真はR2を先に固定している)。このとき、フェンダーの外縁部で手を切らないよう注意!



残ったビス穴(R1もしくはR2)にもKタイプのビスをセットし、六角レンチを使ってねじ込む。



①で取り外したキャリパーAを、再び取り付ける。ピンを差し込む穴が少しゆるくなっているので、簡単に取り付けられるはずだ。



フロント側のビス穴にNタイプのビスをセットし、1番のプラスドライバーを使ってねじ込む。



キャリパーA後端・下のビス穴にはUタイプのビスをセットし、1番のプラスドライバーを使ってねじ込む。



①フロントフェンダーステーを用意し、内側にある2本のピンをフロントフェンダーの穴に合わせて差し込む。なお、フロントフェンダーステーの取り付けは、前後のどちらを先に行ってもよい。



フロントフェンダー裏面と、フロントフェンダーステーを指先で挟むように持ち、ピンの真上から押し込んでフロントフェンダーステーを取り付ける。片側を取り付けたら、もう1本も同じ手順で取り付ける。



ステーとフォークのビス穴の重なり具合を確認する

フロントフォークを左側面から見て、フェンダーステー先端のビス穴と、フロントフォーク先端のビス穴(L3、L4)の位置関係を確認。固定作業は「離れている側」から行うので、写真の状態だった場合は後ろ側から作業することになる。位置関係を確認したら、フェンダーステーはいったん取り外す。



フロントフェンダーステーの真上から、フロントフォーク先端に向かってゆっくりと力を加えて押し込む。フェンダーステー先端のビス穴とフォーク先端のL4が重なったら、反動で戻らないようステーを押さえたまま、クロスレンチに差し込んだ⑥ビス(Cタイプ)をねじ込む。



左側を取り付け終わったらフロントフォークを裏返し、同じ手順でCタイプのビスをねじ込む。



後ろ側のフェンダーステーを固定し終わったら、前側のステーを取り付ける。取り付けの手順は⑭、⑮と同じだ。



⑰と同じ手順でフェンダーステーを押し込み、先端のビス穴とR3が重なったら、クロスレンチに差し込んだCタイプのビスをセットし、真っすぐにねじ込む。



もう片側のビス穴もCタイプのビスを使って固定する。



フロントタイヤを用意し、フロントフォークの間に差し込む。このとき、ブレーキディスクがブレーキキャリアの間に入るように位置を合わせる。



フロントフォーク先端中央の穴と、ホイール中央の穴を合わせたら、フロントホイールシャフトを「ブレーキディスク側」から差し込み、反対側に貫通させる。



フロントフォークを裏返し、フォーク先端中央から突き出したホイールシャフトのネジ部分に、フロントホイールシャフトナットをセットし、指先で右回りに回して取り付ける。ここでのナットの締め込み加減は「仮組み程度」でよく、シャフトがカタカタと動かなければOKだ。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。なお、組み立て作業時の力加減によってフロントフェンダーの形状が歪んでしまう場合がある。そのため、モデルが完成に近付いた段階で、各パーツの形状や位置関係を修正する方法を紹介する予定だ。今回でフロント回りの作業が一段落したので、組み上がったフロントフォークは、次の作業まで大切に保管しておこう。